

社会貢献・地域貢献

ユニーの目指す持続可能な社会は、地球環境を守るだけでなく「みんなが幸せに暮らすことができる社会」です。その実現のために、地域の皆様やNPO、企業、自治体と一緒に社会貢献・地域貢献活動を推進しています。そしてユニーの店舗は地域社会の頼りになる「コミュニティセンター」でありたいと努めています。

社会貢献活動

お買い物で環境貢献・社会貢献

日頃よく行くお店でお買い物をしたら社会貢献ができる……。そんなエシカルなお買い物の仕組みをユニーは実践しています。ユニーとメーカーが協働でお買い上げに応じた寄付をする「ドネーション企画」は、お客様の思いを自然保護や社会貢献に役立てるものです。

▶ 日本ハム 自然体験ツアーを実施

日本ハム商品をキャンペーン期間中にお買い上げいただいたお客様を招待し、親子で楽しむ夏休み自然探検イベントを開催しました。大自然の中で参加者は「火おこし」や「森の溪流探検」を体験しました。



火おこし体験 川遊び体験 みんなで協力して川を上りました

▶ 盲導犬育成キャンペーン「ワンステップ」

たくさんのお客さんの善意が集まり、2015年11月1日から12月31日の2カ月間で323,448円を寄付することができました。また店頭ではパトラッシュ募金箱を設置し、お客様から301万2,143円の寄付が集まりました。



パトラッシュ募金箱 感謝状を受ける佐古社長 ワンステップのポスター

▶ 羽毛布回りサイクルで「熊野古道の保全」

家庭で不要になった羽毛布団を店頭で下取り回収し、羽毛をリサイクルする取り組みを実施しました。この下取り収益金と、下取り枚数に応じて配布した割引券のご利用で1枚につき5円を積み立て、世界遺産熊野古道保全のために「和歌山県世界遺産協議会」に100万円を寄付しました。また、熊野古道保全活動「道普請」に応募したお客様18組の親子と一緒に保全活動を行いました。



感謝状を受ける百瀬CSR部長 熊野古道の保全活動（道普請） 「タコ」と呼ばれる専用の道具で道をならしました

▶ 「エコとくお買物券」プレゼント企画

家庭で不要になった衣料品を回収し、自動車の内装材としてリサイクルしています。衣料品をお持ちいただいたお客様に割引券として使用できる「エコとくお買物券」を差し上げています。1枚の使用で割引金額の1%をユニーから被災地支援や緑化活動に寄付しています。

◆ エコとくお買物券使用実績と寄付金額

	使用枚数合計(枚)	寄付単位(円)	寄付金(円)	寄付先
2015年4・5月	274,380	3	860,000	東日本大震災復興応援企画実行委員会
	28,409	1		
2015年9・10月	239,275	3	740,000	公益財団法人Save Earth Foundation
	14,503	1		



エコとくお買物券

地域のNPO・企業とのコラボレーション

▶ 難民衣料救援

ユニーはNPOや地元企業のボランティアと、お客様の家庭で不要になった衣料品を回収しています。回収した衣料品はNPO法人日本救援衣料センターを通じて、アジア・アフリカ・南米に送りました。この事業には日本通運にも協力していただきました。

◆ 衣料回収実績

実施日	衣料回収店舗	協力機関	衣料回収量(t)	衣料提供者人数(名)
2015年10月17日	アビタ刈谷店	デンソーグループハートフルクラブ	5.5	233
2016年5月11日	アビタ千代田橋店	名古屋を明るくする会 NPO法人日本救援衣料センター	10	127
2016年6月4日	アビタ安城南店	デンソーグループハートフルクラブ	6	170
2016年6月18日	アビタ刈谷店	デンソーグループハートフルクラブ	5.5	187
2016年6月25日	アビタ豊田元町店	トヨタ紡織ボランティアセンター	5	118



デンソーグループハートフルクラブ



トヨタ紡織ボランティアセンター



名古屋を明るくする会

▶ WAFCA (ワフカ) 車椅子支援活動

車椅子の修理ボランティアを行っているWAFCAとあいおいニッセイ同和損保が協働でアピタ安城南店で障がい者支援のイベントを開催しました。



WAFCA (ワフカ) 車椅子支援活動

買い物が社会を変える

▶ フェアトレード

ユニーの店舗では、「フェアトレードマーク」の付いた商品と取り扱っています。フェアトレードとは直訳すると「公正な貿易」。開発途上国などで生産された商品を適正な価格で取り引きすることです。また、このマークは立場の弱い生産者の生活改善や自立、生産地の環境保全なども確認され保証されたマークです。ユニーではフェアトレード商品を販売し、支援しています。

▶ フェアトレードフェスティバルを開催

2013年から毎年、名古屋市内の店舗を舞台にフェアトレード名古屋ネットワークと学生ボランティアとの協働でフェアトレードフェスティバルを開催しています。2015年はヒルズウォーク徳重ガーデンズを会場にイベントを行いました。ユニーはフェアトレード商品を品揃え・販売することで、お客様はその商品を選んで購入することで、生産地の子も達を助けるフェアトレードを支援できることを伝えました。こうしたイベントを今後も開催していきます。



参加団体の皆様

●参加団体

NPO法人 フェアトレード名古屋ネットワーク
FTNN・学生チーム、名古屋外国語大学ボランティアサークルLinks、名古屋高校生国際ボランティア団体とえりゃあwings、日本福祉大学付属高校



責任あるお買い物でフェアトレードを

2015年に名古屋市がフェアトレードタウンに認定されて9月で1年になります。今年5月のフェアトレード推進月間に名古屋市教育委員会は市内のすべての小学校給食で「フェアトレード認証の白ごま」を導入したメニュー12万食を提供しました。子ども達は栄養教師からフェアトレードについて学び、お家の方々にもフェアトレードが伝わる機会となりました。教育の現場から、家庭の消費につなげたい！子ども達が給食で食べたフェアトレード商品をぜひ近くのスーパーで買えるようにしてほしいと、5月から名古屋市内のユニー一部店舗でフェアトレード認証白ごまの取り扱いを始めていただきました。買って使って消費してこそフェアトレード。責任あるお買い物で生産者に繋がることが理想です。



NPO法人フェアトレード名古屋ネットワーク
FTNN代表
原田 さとみさん

▶ 10月1日「コーヒーの日」イベント（リーフウォーク稲沢）

日頃親しんでいるコーヒーは、日本ではほとんど栽培されず、海外から輸入している作物です。コーヒーはどのような環境で栽培され、加工・輸送されて私達のもとに届くのかをほとんどの消費者は知りません。ただ、生産国は途上国が多く、消費は先進国であるということ。また生産地は「生物多様性ホットスポット」（絶滅が心配される生き物が多く生息する地域）と重なっています。

リーフウォーク稲沢では、店内でコーヒーを提供している専門店が協働で、美味しいコーヒーと地球環境のつながりをお客様に伝えるイベントを開催しました。



スターバックスのコーヒーのリサイクル堆肥を使った苗植え



珈琲工房ひぐちのサスティナブルコーヒーの試飲

▶ AJU自立の家・車いすセンター、小牧ワイナリーの支援

1982年より支援を続けている「AJU自立の家・車いすセンター」に、2015年度は従業員からの募金61万5,931円を寄付しました。また、障がい者就労支援施設小牧ワイナリーが栽培したブドウを醸造したワインを店舗で販売しています。また、2015年に小牧市に「小牧ワイナリー」を設立、収穫したブドウでワインを醸造しました。ユニーはこれからもワインの販売店舗を拡大し、消費者に購入していただくことで支援を続けます。



小牧ワイナリーで作業

スターバックスのリサイクルループ



スターバックスの食品廃棄物の多くを占めているのが、毎日店舗でお客様に提供するコーヒーを抽出した後に残る豆かすです。この豆かすを有効活用できるコーヒー豆かすのリサイクルループを多くの関係者との連携により実現しました。世界中のコーヒー生産者に大切に育てられ、日本に届けられたコーヒー豆は、お客様にお楽しみいただいた後、新たなジャーニーへ出かけます。コーヒー豆かすから牛のえさや野菜のたい肥が作られ、そのえさやたい肥で育てられた牛のミルクや野菜が、また店舗でサンドイッチやドリンク類の原材料に用いられます。持続可能なより良い未来につながると信じて、これからもこの資源循環の取り組みを拡大していきたいと考えています。



スターバックス コーヒージャーナ
関根 久仁子さん



初醸造「ななつぼし」をリリース

「小牧ワイナリー」は2015年5月1日にオープン。障がいのある方が、自分らしく地域で暮らすために就労を支援するワイナリーです。暑い日も寒い日も畑で働き、できることをコツコツと真面目に、日々の努力が報われるように、障がいがある人もない人も、楽しく関わることのできる事業としてまいります。2016年春にリリースの初醸造「ななつぼし」は大好評、今後は生産の安定を目指し、ブドウの栽培と品質の向上を目指します。



小牧ワイナリー
川原 克博さん

募金活動

▶ WFP(世界食糧計画) 支援活動

ユニーは食品を扱う企業として国連WFP協会に加盟し、従業員を対象にワンコイン募金活動を実施しています。本社や店舗では毎月第一日・月曜日のランチタイムにポケットのワンコインを募金してもらい、開発途上国の子も達の給食プログラムに贈っています。2015年度は100万円寄付しました。



本社食堂前 ワンコイン募金

▶ 世界の医療団～スマイル作戦キャンペーン～

世界の子ども達に笑顔を贈る活動は、先天性の病気やけが、戦争などで顔に傷を負った発展途上国の子ども達に、医療支援をするための活動です。2015年度には18店舗で開催し、902名が参加して、子ども達にメッセージを贈り、415万1,277円の寄付金振込みの手続きをしていただきました。



スマイル作戦キャンペーン

▶ UNHCR(国連難民高等弁務官事務所) 支援活動

2015年から2016年にかけて、世界は難民問題で揺れています。宗教や人種、政治的な立場が異なるという理由で迫害を受け、内戦や生命さえ脅かされて故郷から逃げ、他国に避難した難民、また国内の別の地域に避難した避難民になってしまった人々が安心して暮らすに帰れるように支援活動を行っています。2015年度は3店、60名が9万9,500円の寄付振込みの手続きをしてくださりました。



UNHCRの活動

▶ 愛の1円玉募金

店頭に「愛の募金箱」を設置し、お客様・取引先様・従業員から善意のお金を募っています。集まった募金は地域の社会福祉協議会や福祉団体へ寄付しています。



愛の1円玉 募金箱

中京地区	8,122,848円
関東地区	1,918,101円
山静地区	731,306円
北陸地区	834,581円
合計	11,606,836円

被災地支援・防災活動

近年日本を襲う天災、大地震や津波、大雨による河川の氾濫などは、各地で甚大な被害をもたらしました。ユニーは被災地の方々への支援として、お客様の善意を届ける活動をしました。

鬼怒川氾濫 災害時の緊急避難

2015年9月11日、茨城県常総市周辺は鬼怒川の堤防が決壊するほどの大雨に見舞われ、アピタ石下店も濁流に飲み込まれました。午前10時過ぎから浸水が始まり、15分ほどで1階フロアが大人の腰ほどまで水位が上がり、お客様・従業員合わせて100名ほどが店内に取り残されました。従業員はお客様を2階へ避難誘導し、浸水している場所に取り残されている人がいないか確認し、2階まで浸水した場合の避難の準備などを行いました。この夜を明かすための食料や布団の手配、簡易トイレの設置など、緊急避難所の役割を果たし、翌朝、自衛隊のヘリコプターで救出されました。被災4日目には仮設テントでの販売、20日目からは2階部分で仮営業を始めることができました。



アピタ石下店

東日本大震災被災地の子ども達に笑顔を贈る

▶ ユニーグループのドネーション企画

東日本大震災の被災地には、まだまだ復興が進んでいない地域があります。厳しい状況の中でも子ども達は未来に向かって夢をかなえようとしています。そんな子ども達を応援するために、メーカーとユニー・サークルKサックスが協働で、お買い上げに応じて寄付金を拠出するドネーション企画を2014年から実施しています。

2015年度は、宮城県七ヶ浜町の子供達によるミュージカル公演を支援しました。この劇団は震災前の2001年から町が子ども達の課外活動として取り組んできました。演目は「ゴーへ!」という震災に負けない思いをテーマにしたものです。公演の開催には、名古屋のNPOや企業、団体が上演委員会を立ち上げ、地元の高校生ボランティアも協力しました。

協賛企業

アサヒ飲料(株)、旭化成ホームプロダクツ(株)、(株)伊藤園、エステー(株)、キリンビバレッジ(株)、コカ・コーラボトラーズ、サントリーフーズ(株)、ショーワグローブ(株)、(株)日本香堂、(株)バスクリン、ユニ・チャーム(株)



七ヶ浜国際村ミュージカル劇団NaNa5931



ドネーション企画ポスター



ミュージカル「ゴーへ!」



花束を渡す佐古社長

▶ 子ども達の夢をかなえる「みちのく未来基金」

ユニーとサークルKサックスは、東日本大震災で親を亡くした子ども達の進学を、2012年より10年間支援することを決め、みちのく未来基金に参加しています。2015年度には92人の子ども達が希望の道に進学できました。奨学金給付人数は述べ526人になりました。



みちのく未来基金 門出の会

▶ ベルマークを集めて文房具を贈る

ユニーは東日本大震災被災地の子ども達を支援するために、お客様と従業員と一緒にベルマークを集めて文房具を贈る活動をしています。2015年度はユニーとグループ会社13社が協働で取り組みました。2016年1月9日から2月16日の期間で96万1,742点が集まり寄贈しました。



ベルマーク寄贈するキリンビバレッジの皆さんとユニー

▶ ハーゲンダッツアイスクリームで楽器をプレゼント

ハーゲンダッツと協働で、アイスクリームお買い上げ1点につき1円を寄付することとし、宮城県の幼稚園、保育園2施設に楽器を贈りました。12月1カ月間で46万3,671個のアイスクリームをお買い上げいただき、46万3,671円の寄付金で楽器を寄贈しました。寄贈式ではアイスクリームもプレゼントしました。



宮城県山元町保育園

▶ 未来に心がつながる! 絵本プロジェクト

2012年から花王との協働で、東日本大震災被災地の子ども達に「本棚いっぱい絵本」を贈っています。2015年3月17日から4月20日までの期間にアピタ・ピアゴ・ユーホーム・サークルKサックスの店舗で花王の対象商品1点お買い上げにつき1円の寄付金を積み立てた115万3,759円で、福島県・宮城県・岩手県の小学校・幼稚園・保育園13施設に794冊の絵本を寄贈しました。



福島県広野町幼稚園

防災を子ども達と楽しく学ぶしかけづくり

「いつ来てもおかしくない地震に向けて備えよう」と、いたるところで叫ばれています。特に次代を担う子ども達への防災教育は重要ですが、まずはどう関心を持ってもらうかが難問です。そこで取り組んだのが、「あそぼうさい・まなぼうさい」です。しっけは2つ。1つは「開催場所」。特別に防災を意識せず、普段買い物に立ち寄る大型ショッピングセンターをターゲットに、今回ヒルズウォーク徳重ガーデンが快くお引き受けくださいました。2つ目は「楽しく学ぶ」こと。暗室で危ないものを踏まずに懐中電灯で笛を見つけて吹くという「まっくら体験」など。こうした取り組みを今後もユニーのご協力により推進していきたいと思っています。



認定NPO法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田 暢之さん

熊本地震への対応

▶ 熊本地震災害義援金募金

ユニーグループの従業員とお客様からの義援金、計1億3,318万4,894円を日本赤十字社に寄託しました。



熊本地震災害義援金募金箱

▶ ユニー従業員の被災地支援活動

義援金だけではなく、被災地の障害のある方たちへの支援活動として、ユニー従業員のそれぞれの家庭からタオル約18,000枚、パスタ約4,500枚、毛布約250枚を被災地障害者センターへまとりに届けました。



従業員の支援活動

従業員の間持ちとタオルを被災地へ



5年前、東日本大震災の救援物資発送の時に作業と一緒にした仲間達と「こんな悲しい作業はもう嫌だね…」と語り合ったにも関わらず、再び熊本で大地震が発生しました。悲しくも5年前の経験が役に立ち、救援物資の発送も滞りなく終わり、ユニー従業員の善意(温かい気持ち)とタオルをお届けすることのお手伝いできましたと思います。今は熊本の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



弥富物流センター 大山 尚代

災害訓練イベント

▶ 楽しく体験する防災イベント

近年、東北大地震や熊本地震などの大災害が、各地に甚大な被害を及ぼしています。そこで地震が襲ってきたときに、自分の命を守るための行動を子ども達に遊びを通して体験してもらうイベントを、店頭や公園で開催しました。

▶ あそぼうさい

名古屋市緑区のヒルズウォーク徳重を会場に、名古屋市に本部のある災害支援NPOレスキューストックヤードの主催で、体験型防災イベント「あそぼうさい」を開催しました。地元で防災活動に取り組んでいるNPO・団体によるこのイベントには、震度7を体験できる「ぐらっときたゾウ」や、暗闇で笛を探し出して吹く「まっくらだゾウ」などで、子ども達は命を守る行動を楽しみながら学びました。



あそぼうさい

▶ レッドベア 防災キャンプ

名古屋市港区の戸田川緑地で、神戸市に本部のあるNPOプラス・アーツの指導による親子対象の防災キャンプに参加しました。



レッドベア防災キャンプ



災害時には店の段ボールで寝具をつくる

地域貢献活動

ユニーは「地域のコミュニティーセンター」として、公職選挙の投票所の設置など、さまざまな地域貢献活動を行っています。いつもお買い物に来ていただく店舗や地域の公園・公共施設などで、自治体やNPO・地域の皆様と一緒に地域活動を推進しています。

地域で環境啓発活動

▶ 全店一斉クリーンキャンペーン

ユニーでは毎日、店舗や事業所周辺の清掃や除草を行っています。また6月の環境月間、10月の3R推進月間には清掃活動の範囲を近くの公園や子ども達の通学路などで広げた全店一斉クリーンキャンペーンを実施しています。そして本社ではグループ企業と一緒に清掃活動を行い、地域の美化に努めています。



クリーンアップ活動

▶ 能登の里山里海スタディツアー

ユニーと石川県、能登4市5町、関係団体で構成する世界農業遺産活用実行委員会では、2011年度から世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」の魅力体験して学ぶ、親子スタディツアーを実施しています。毎年2回ずつで、今までに輪島市・穴水町・志賀町・七尾市・珠洲市・羽咋市、中能登町・宝達志水町・能登町で実施し、能登4市5町が一巡しました。今後も石川県と連携しながら親子さんとともに活動していきます。



スタディツアー



ブルーベリージャム作り体験

▶ Mie子どもエコフェア

三重県鈴鹿山麓リサーチパークで、子ども達が楽しくエコライフを学ぶイベントMie子どもエコフェアが開催され、ユニーは環境展示とエコ工作を出展しました。夏休みの一日を環境について学ぶ楽しい催しでした。



エコ工作「鉛筆の削りかす粘土でオリジナル鉛筆作り」

▶ メッセナゴヤ2015 環境展示会

名古屋商工会議所主催のメッセナゴヤ2015に、ユニーグループ・ホールディングスとして、サークルKサンクスと共同出展しました。「環境にやさしいお買い物…命につながる水を大切に」をテーマに、消費者に水を汚さない暮らしを提案しました。特にマイクロプラスチックが海洋汚染の原因であり、海洋生物に深刻なダメージを与えていることを説明する展示やエコ工作には、たくさんのお客様に関心をもっていただきました。

▶ 全国初の「共通投票所」設置

長野県高森町にあるアピタ高森店は、町と町の選挙管理委員会と「共通投票所の使用に関する協定」を締結し、2016年7月の参議院議員選挙から共通投票所を設置することを決めました。この店は2015年4月の長野県議会議員一般選挙で期日前投票所を設置しています。いつものお買い物に訪れるスーパーで投票ができることで投票率の向上が図られるとともに、お客様に利便性や若い世代が政治に参加しやすくなるよう努めています。



アピタ高森店での調印式の様子

▶ 大垣市環境市民フェスティバル

ユニーは大垣市環境市民会議に参加し、市民や大垣市、企業・団体と一緒に環境保全活動を行っています。大垣市は水都といわれ、古くから自然環境に恵まれた地域です。その自然を未来に残そうと市民会議が毎年開催しているイベントに、環境展示とエコ工作、紙芝居を出展しました。



環境展示を出展

▶ 環境デーなごや

名古屋の中心部、久屋大通で開催された環境デーなごやに、日本チェーンストア協会中部支部の一員として出展しました。ユニーは大学生と協働で制作した「環境紙芝居」の新作をたくさん子ども達の前で発表しました。作者の大学生が一生懸命読み聞かせ、とても共感を得ました。



新作環境紙芝居を発表



ユニーグループ・ホールディングスのブース



プラスチック容器でエコ工作